

## 2021年3月期 決算説明会・主な質疑応答

決算説明会での主な質疑応答を掲載しています。

開催日時：2021年5月13日（木）

### <ご留意事項>

「主な質疑応答」は、説明会での質疑をそのまま書き起こしたのではなく、ご参加いただけなかった方々向けに、当社の判断で簡潔にまとめたものです。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 映像事業

Q：今期のレンズ交換式デジタルカメラの販売台数・単価、レンズ付帯率の傾向を教えてください。

A：レンズ交換式デジタルカメラの市場全体の販売台数は増加を見込みますが、当社の販売台数自体は減少する見通しです。価格競争の激しい初級機を含めた市場全体のシェアを追わず、プロ・趣味層向けミラーレスカメラの販売に注力しています。昨年末に発売した Z 6 II、Z 7 II の販売は引き続き好調に推移しており、ミラーレスカメラとしては初のフラッグシップモデルとなる Z 9 の年内発売を目指しています。中高級機へのシフトが更に進む結果、販売台数は減少しても、平均販売単価を高めることで、売上の拡大を図ってまいります。

レンズについては、ミラーレス専用ラインアップを現在の 18 本から今年度末には 30 本程度まで拡充予定です。一台当たりのレンズ付帯率を上げることで収益力を高めてまいります。

### 精機事業

Q：来期以降の FPD 露光装置の販売見通しについて教えてください。

A：来期は 10.5 世代向けの投資は一段落しますが、中小型パネル生産向けの装置については、お客様の投資意欲は引き続き底堅く推移しています。

Q：半導体露光装置の今期の販売は落ち込むようだが、来年以降は回復する見通しか。

A：主要顧客が大規模投資を発表していることもあり、新たな受注につながることを期待しています。

国内外での積極的な販売活動により、安定顧客の開拓を進め、将来の販売へつなげていきたいと考えています。

## コンポーネント事業

Q：コンポーネント事業の今後の展開・見方を知りたい。

A：コンポーネント事業については、事業として一定規模の売上・利益が期待できるため、今年からセグメントを変更しています。ビジネスを本格展開して3年目となりますが、特に EUV 関連コンポーネントが進展し、予想よりも早く収益を拡大することにつながりました。

Q：コンポーネント事業が今期大きく利益を拡大している要因は？

A：多くの製品が利益に貢献し始めておりますが、足元では特に、EUV 関連コンポーネントビジネスの進展が大きく寄与しています。

Q：来期以降、増収増益を継続できるのか。

A：来期も、露光装置や検査装置を含めた EUV 関連市場の需要拡大が期待されており、当社としてもキーコンポーネントの提供を通じて更なる成長を実現していきたいと考えています。

以上